

ギゼラ・マシャエキ＝ベア スザンネ・ベア 森 美加

— トリオ演奏会 —

2015年

9月25日(金) 18:30開場／19:00開演

東京文化会館 小ホール

●全席自由: ¥3,500 ●学生: ¥2,500(税込)

[学生券はカメラータ・トウキョウのみ取り扱い]

★主催・問い合わせ:

カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560
www.camerata.co.jp

●後援: オーストリア大使館／大阪国際音楽コンクール
東京藝術大学同声会

●協力: 村松楽器販売株式会社

●チケット取扱:

カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560
東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

programme

セルゲイ・ラフマニノフ:

悲しみの三重奏曲

Sergei Rachmaninoff: Trio Élégiaque

カール・ライネッケ:

ピアノ三重奏曲 第2番 作品230 ハ短調

Carl Heinrich Carsten Reinecke: Piano Trio No.2 in C Minor, Op.230

アントニン・ドヴォルザーク:

ピアノ三重奏曲

Antonin Dvořák: Piano Trio No.1, Op.21



ギゼラ・マシャエキ＝ベア ●フルート
Gisela Mashayekhi-Beer, flute

ドイツのバッサウに生まれる。ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院で学び、その後ウィーン国立音楽大学にてヴォルフガング・シュルツに師事。1987年教授全員一致の最優秀にて卒業。P.L.グループ、A.ニコレのマスターコースを受講。1989年、「アンサンブル・ウィーン2001」を結成。1995年、パーカッションのベルント・ターナーと共にデュオ「ダブル・イメージ」を結成。ウィーン国立音楽大学にてヴォルフガング・シュルツのアシスタント、ウィーン室内オーケストラ及びウィーン・トーンキエンストラ管弦楽団、チューリヒ歌劇場管弦楽団首席フルート奏者、コンセルヴァトリウム・アントン・ブルックナー・リンツ私立音楽大学准教授を経て、現在ウィーン国立音楽大学、及びヨゼフ・ハイドン・コンセルヴァトリウム准教授。



スザンネ・ベア ●チェロ
Susanne Beer, violoncello

ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院にてハイデイ・リッシャウアーに、その後ワルター・ノータスらに師事。ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団の首席を18年間務める傍ら、吹奏のオーケストラにゲスト首席として招かれている。また、G.シュルティ創設、V.ゲルギエフが指揮をとる世界平和管弦楽団でも首席を務め、世界のベストメンバーと共に演奏している。ウィグモアホール「ロンドン・フィルのソリストたち」、現代音楽演奏グループ「アンサンブル・ウィーン2001」など、室内楽も活発。ソリストとしては、ウィーン・コンツェルトハウスでの現代音楽祭、ザルツブルクのミラベル宮殿、大司教レジデントやバイエルン国立歌劇場などにも出演。レコーディングも数多い。スズキ・メソッド認定指導者。また、「orchestra studies - The Cello Corner」を通じて、オーケストラ奏者教育にも携わっている。



森 美加 ●ピアノ
Mika Mori, piano

東京芸術大学附属音楽高校を経て、同大学卒業。その後ウィーン国立音楽大学にてハインツ・メディモレック教授に師事。教授全員一致の最優秀にて卒業。在学中より数々のコンサートに出演し、カーネギー・リサイタルホール、ウィーン・コンツェルトハウス、楽友協会プラームスザール、東京文化会館等、内外著名ホールにてリサイタル及び、室内楽演奏会を精力的に行なう。1989年より、草津国際音楽アカデミー&フェスティバルに出演。数々の世界的奏者との共演を重ね、常に高い評価を得ている。2002年よりフルーティストのギゼラ・マシャエキ＝ベアとのアンサンブルを結成。フルート・トリオ及びデュオにて活発に活動。CD録音も多数行なっている。ウィーン国立音楽大学伴奏専任講師。